

## 富士山木造住宅協会

全建連の超長期住宅先導的モデル事業に積極的に取り組んでいる富士山木造住宅協会（遠藤龍一 事務局長、事務局マルダイ内）は、既に傘下の協会員の3社の工務店で5件の物件に取り組み、3月末までに6～7社、10～12棟



協会加盟工務店が建築中の現場。  
オール国産材使用

# 今年度、10棟以上見込む

## オール国産材の全建連モデルで

に拡大する見通し。

全建連モデルは、オール国産材を仕様としており梁や羽柄材まで

のデータ連携も活用されている。「長期優良住宅法案が通り、施主からの問い合わせが

対応も簡単ではないが、通し柱、土台の4寸5分角といった太い材や梁にはカラ松集成材などを含めて供給できる体制としていることや、全建連の同事業への取り組みを主な目的に昨年設立された協会だけに、性能表示を含めてサポート体制も充実している。

工務店との間では、CEDXM（意匠CADとプレカットCAD

は話す。増えており、各地に説明に行く機会が増えてきた」と遠藤事務局長は話す。